

NPO法人 福山おやこ劇場 2月高学年鑑賞例会

人形劇団 **7-7** (No.182)



お
こ
は
し
る

この先の、
向こうへ

原作/工藤直子 脚色演出/柴崎嘉郎

絵/八代健志 題字/矢野真美

【と き・ところ】

会員募集中!

2月23日(月・祝) 19:00 開演 (18:30 開場) <上演時間: 65分>

ふくやま芸術文化ホール **リーデンローズ小ホール**

【主催・問い合わせ先】 特定非営利活動法人 福山おやこ劇場

〔福山市多治米町2-15-1 TEL/FAX 084-959-4133〕



GF_Oyako_Hb



この先の、向こうへ

ねこはいる

原作／工藤直子（童話屋刊） 脚色・演出／柴崎喜彦
人形デザイン／八代健志 人形製作／坂上浩士
装置／阿部銀子 音楽／富貴晴美 振付／菊地美雅
照明／芦辺靖 音響効果／川名武

「このすばらしき世界を諦めずに走る」

脚色・演出 柴崎喜彦

人は、人生という長い道を、走る。辛かったり、悩んだり。そして同じように多くの人がある道が、その道は時に交わり時に大勢の太い道になったり、ひとり走る細い道になったり。

今、若者の孤独が深刻化しているのだそうだ。生きる目的がわからず、自分の居場所を見失い走るのを断つ人も少なくない聞く。胸が締めつけられる。人は周りに迷惑をかけなければ生きられない生き物だ。自分が生きることで誰かを、何かを、傷つけているかもしれない。頑張っても苦労だけして今と同じ景色のままかもしれない。

でも、社会は人が支えあって成立するのであり、誰にも必要とされない人間は存在しない。自分が生きることで誰かを、何かを、救っている場合もきっとある。生きれば、人生を、走るのを諦めなければ、今よりも「幸せだ」と感じられることがあると信じて。そして、今、みてる景色とは違うものがみえると信じている。この世界は孤独ではなく、たくさんの生命が一緒に走っているのだから。

この舞台のテーマは「諦めないで走る」こと。ほんの少しの勇氣と自信と覚悟と自由を求め、今の自分からその先に行こうと決めた者たちへの応援歌として、この作品を届けたいと願っている。

らんは、黒猫。何もうまく出来ない。
心の穴は、ぼっかり開いたまま。
魚は、ひとり、池にいる。この先の向こうへ行くことを夢見ている。
ふたりは出会い、互いの存在が生きる喜びへ。
しかし、ふたりに突き付けられる過酷な運命。
らんの出した答えとは一。
工藤直子さんの瑞々しい言葉にあふれた原作を人形劇化。
「一歩先へ、今と違うところへ」今を生きる若者たち、
おとなたちをいざないます。



おやこ劇場ってどんなところ？

さまざまなジャンルの優れた生の舞台芸術を定期的に鑑賞する

鑑賞例会活動

キャンプやたこあげ大会などの体や頭を働かせて割り出す

自主活動

おやこ劇場は、子どもたちの心豊かな成長のためには、豊かな文化は欠かせないと考えて出発しました。

左記の活動を中心とし、大人も子どもももちあっていくことをめざして活動しています。

※4歳以上

私たちと一緒に楽しく活動してみませんか？

《会員制です》

おやこ劇場は、みんなで会費を持ちよって運営している非営利の会です。

●いつでも入会できます。

2月鑑賞例会『ねこはいる』に参加を希望される方は、2月入会となります。最低2か月間の会員登録が必要です。入会申込書・入会金(300円)と2ヶ月分会費(2,600円)の合計2,900円をそえて、事務所もしくはお近くの会員まで申し込んでください。不明な点は、お気軽に事務所まで問い合せてください。

この作品は、小学校高学年以上の方を対象にしています。

会費(お一人)	入会金	300円
大人・子ども同額	会費	1,300円

特定非営利活動法人
福山おやこ劇場

[Tel/Fax 084-959-4133]



QR_Oyao_HP